

平成21年度 事業報告書

平成21年7月1日 から 平成22年6月30日まで

特定非営利活動法人 国際インフラ調査会

1 事業の成果

「インフラストラクチャーの整備に関する調査・研究事業等を行い、開発途上国等の国土整備に協力することにより社会経済の発展を実現し、国際協力活動に寄与する」活動を継続いたしました。

海外調査、国別協力会の活動、バーチャル資料室の整備などについての準備を行い、また事業計画書に含まれていなかった事項も含め以下の通りの活動を行いました。

平成21年度は、当会にとって特筆すべき年度でありました。すなわち、前年度にはこれという成果を上げることができませんでしたが、21年度は関係各位のご支援により活動を再スタートすることができたのです。

- ① 「21世紀東アジア青少年大交流計画」(JENESYS Programme)によるミャンマー建設関係技術者20名の招請事業を行うJICE(日本国際協力センター)の事業実施に際し、講義・現場見学調整などの協力活動を行いました。(2009年10月)
- ② JICS(日本国際協力システム)のNGO支援事業に採択され、技術専門書「語り継ぐ舗装技術」(多田宏行氏編著)の英語翻訳事業をミャンマー工学会の協力を得て実施いたしました。この成果は2010年8月のISAP(アスファルト舗装国際会議)において参加者に配布される予定です。(2010年2月～)
- ③ 国税庁より認定NPO法人として認定され、寄付金に対する免税特典が認められることになりました。(2010年3月)
- ④ 当会では、かねてよりミャンマー工学会と協力関係にあり、交流を深めてきておりますが、ミャンマー工学会・会長のハンゾー氏の土木学会国際貢献賞受賞来日時に、JICAの行ったセミナー・交流会に共同的に参加協力いたしました。
- ⑤ 月一回の割合で社員(会員)による活動推進会議を開催し、情報と意見の交換を行いました。

事業名	内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) 経済技術協力等事業	① 情報収集インフラ整備 バーチャル資料整理システム整備を継続し、ホームページの改良を行いました。(前年度、infra-jip.or.jpのドメインを取得し、ホームページを立ち上げました。)	適宜	東京	4	開発途上国のインフラ整備関係の内外の技術者 100	12
	③ 経済技術協力案件の発掘 (i) 新たなプロジェクトの発掘のための調査・情報収集等を行いました。	適宜	東京	5	関係技術者、関係地域の住民 200	49

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従 事 者 の 人 数	受 益 対 象 者 の 範 囲 及 び 人 数	支 出 額 (千円)
(2) 技術移転等 事業	① わが国技術書の英語翻訳 前々年度からはじめていた、わが国道路舗装技術書「語り継ぐ舗装技術」の英語翻訳印刷配布する事業が、JICSのNGO支援事業に採択されたので、本格的に取り組みました。2010年8月に開催されるISAPアスファルト舗装国際会議で配布される計画であり、翻訳のJIP会員は多大なる努力をはかりました。	平成22年 02月～ (継続中)	東京	9 (ミャンマー) 2	開発途上国の道路技術者、海外業務を行うわが国道路技術者 1,500	323
(3) 技術 交流等事業	① 来日調査団事業の協力 JENESYSプログラムによるミャンマー建設技術者招聘事業担当のJICEに協力、講義や現場見学調整・指導を行った。 ② 来日技術者との交流 ミャンマー工学会・会長ハンゾー氏のミャンマー在日研修生の状況調査での来日時に交流会を開催しました。 ③ 土木学会国際貢献賞受賞のミャンマー・ハンゾー氏来日時にJICA実施のセミナー、交流会に共同的に実施協力しました。	H21年 7月 ～ 10月 H21年 10月 H22年 5月	東京 横浜 千葉 東京 東京	2 5 3	ミャンマー来日技術者等 20 関係技術者 50 関係技術者 100	333 62 8
(4) 相互理解・ 友好関係の 増進事業	① 普及・啓発活動 会員内部の情報・意見交換を目的に月一回のペースで活動推進会議を開催しました。	適宜	東京	延120	関係技術者 200	20